

世界

綿花見通

供給タイトで価格上昇---2010/11 年度

国際綿花諮問委員会（ICAC）によると、世界の綿花生産が引き続き減少している一方、ミル消費は回復傾向を続けている結果、2009/10 年度の期末在庫は前年度比 21% 減の 960 万トに低下し、2003/04 年度以来の低水準となる見通しである。在庫率（在庫/ミル消費）は、2008/09 年度の 52% から 2009/10 年度は 39% に低下。1993/94 年度以来の低水準となる見込みである。

綿花供給は、北半球で新綿の収穫が始まる 8 月まで引き続きタイトな状況が続く。2010/2011 年の世界の綿花生産は前年度比 14% 増の 2,500 万トに回復する見通しである。増産の最大の要因は、2009/10 年度に綿花価格が上昇した一方、穀物など他の競合作物の相場が軟化したことにより、農家が綿花の作付けを増加したことにある。

2010/11 年の世界のミル消費は回復傾向を続け、前年度比 2% 増の 2,490 万トと予想される。世界景気の回復に後押しされる一方、高い綿花価格と「在庫積み増し効果」の鈍化により限定されたものになる。

このように生産とミル消費がほぼバランスするため、2010/11 年度の期末在庫は、前年度からほぼ変わりがない、960 万トとなる見通しである。

ICAC モデルで試算すると、2010/11 年度の Cotlook A インデックス（綿花価格の指標）の平均価格は 87 ㇶ（73～103 ㇶの間）となる見通しである。これは前年度の平均価格から 12% の上昇となる。ただし世界の商品相場は全体からして非常に不安定な状態にあることを注意する必要がある。

世界の綿花需給見通し

(100万ト)

	2008/09	2009/10	2010/11
生産	23.36	22.0	25.0
消費	23.46	24.5	24.9
輸出	6.62	7.8	7.9
期末在庫	12.08	9.6	9.6
価格*	61.20	78	87

*Cotlook A インデックス (ㇶ/ポンド)

中国

合繊原料

吉林石化、中国最大の AN 企業に

このほど、吉林石化のアクリロニトリル（AN）の 2 本の生産ラインが

相次いで稼動を開始した。これによって同社の AN 生産能力は年産 42.4 万トとなり、中国最大の AN 企業となった。

現在、中国の AN 生産能力は年産 100 万トを超えるものの、依然として年間数 10 万トを輸入に依存している。吉林石化は国内需要を満たすため、2009 年から第三基の AN 工場の建設を始めた。このラインは国内外の新技术を多く採り入れており、ポンプとバルブ以外の設備は国産化を達成しているという。

中国のアクリロニトリルの輸入量 (1,000 ト)

	2004	2005	2006	2007	2008	2009
世界計	319	316	324	436	285	451
米国	92	63	65	111	68	140
韓国	92	127	141	130	90	111
台湾	70	62	78	108	85	66